

大阪は‘まち’がほんまにおもしろい

# 感激！エンターテインメント・プレイスin西天下茶屋

～駄菓子と、地ソースと、大衆演劇「梅南座」観劇と～

かつては綿業、鉄工、造船関連の製造工場が軒を並べて、大いに賑わったという西天下茶屋界隈。いまは工場群も少なくなりましたが、昔ながらの駄菓子工場や、コナモンに欠かせないソース工場、庶民の娯楽の殿堂だった大衆演劇場などが残っています。昔懐かしい、大阪の下町文化を満喫しましょう！



## ①西天下茶屋駅

南海高野(汐見橋)線の駅。大正4年(1915)開業。昭和30年～40年頃までは、線路沿いにあった工場の勤務者で、1日の乗降者数が4千人ほどありましたが、平成19年(2007)調査では、1日の乗降者人数は約350名まで減少しています。

## ②敷津松之宮西成社

浪速区にある敷津松之宮神社の御旅所です。同神社の記録によれば3世紀に、神功皇后が武内宿禰を従えて、敷津浜を航行中、松の木3本を植えて航行の安全を祈願したのが起源といわれています。はじめは松本の宮と呼ばれていましたが、明治頃には八坂神社と呼ばれるようになりました。

## ③株式会社ハシモト

日本で唯一の型抜き製造メーカーで、昭和27年(1952)に当地に拠点を構えました。東京で流行りつつあった「かたぬき」を独自に研究開発、商品化に成功して、たちまち子供たちの人気を集めました。平成9年(1997)には、大人も楽しめる型抜き「ザ・かたぬき」を開発、こちらもヒット商品となっています。

## ④サンヨー製菓株式会社 (モロッコヨーグル)

昭和21年(1946)、菓子製造開始。昭和34年(1959)に池田製菓として法人設立。フィンガーチョコやウィスキーボンボンを昭和35年(1960)に開発してヒット。しかし模倣品の登場や、夏場の製造・販売が困難であったので、それらの課題を解決するために昭和36年(1961)「モロッコヨーグル」を開発。平成8年(1996)には、普通サイズ11個分のジャンボサイズ「ジャンボヨーグル」を発売して話題となりました。第23回全国菓子大博覧会で財務大臣賞を受賞しています。

## ⑤株式会社池下商店(ヒシ梅ソース)

大正12年(1923)創業。大正15年(1926)にウスターソース、昭和23年(1948)に「タマリソース」とんかつソース)を発売。大阪で一銭焼きやたこ焼きの屋台などが登場したさいに、酒販店を通じて広がっていきました。工場は昭和30年代に建設したものです。ラベルはすべて手張りで、手作業で製造しています。製造量は年間180キロリットルで、平成19年(2007)には、日本経済新聞のおすすめソースランキングで1位を獲得、知名度は全国区へと広がりました。

## ⑥梅南座

平成10年(1998)開設の大衆演劇場。席数100。昭和50年(1975)、鶴見橋にあった鶴見グランド(現在の鈴成座)で大衆演劇をしていたオーナーが、元々は鉄工所だった場所を購入・改装。1階は劇場、2階は出演劇団の宿泊所となっています。月初日から月末1日前まで、毎月1劇団が、1日2回公演(午後0時スタートと、午後5時30分スタート)を行っています。

## 大衆演劇について

全国各地にある大衆演劇専用の劇場や健康ランド、ホテルなどで、時代劇や、演歌や歌謡曲にあわせての舞踊ショーなどを行っています。勤善懲悪で大変分かりやすいストーリー構成で、舞台と客席も近いので、役者と観客が一体となって盛り上がりやすい。日本全国では130以上の劇団が存在しているといわれ、何世代も続く老舗劇団もあれば、最近旗揚げ(創立)した20代～30代の若い座長の劇団など、多種多様な劇団が存在しています。

【注意事項】この地図は「大阪あそ歩」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930 (財団法人大阪観光コンベンション協会内) 「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。 <http://www.osaka-asobo.jp> または「大阪あそ歩」でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2~3km、2~3時間程度を基準として作成されています。

